

## 新しいがん免疫療法 ～がん細胞への新しいアプローチ

日本人の死亡原因の1位は「がん（悪性新生物）」です。いつ発症するか分からない恐ろしい病気との印象が強いがんですが、実は私たちの体内では日々、がん細胞が発生しています。ですが、このがん細胞は免疫細胞により、日々、除去されています。つまり免疫力のおかげで日々健康な暮らしができています。今回はこの免疫力の力でがんを治療する、という新しい治療法についてです。

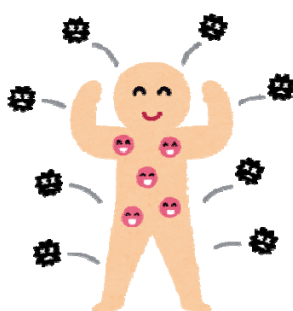


免疫とは自己防衛機能のことで、病原菌やウィルスなどの侵入を防いだり、体内にできた害をもたらす細胞を除去しています。この働きをするのが白血球です。白血球は「免疫細胞」としていつも体を守ってくれています。

最近、がん細胞が免疫のはたらきにブレーキをかけてしまい、この免疫細胞の攻撃を阻止していることがわかってきました。ボクシングに例えるなら、がん選手が免疫選手の体にしがみついてパンチを打たせないようにするようなものです。

がんに対する治療は、手術による外科治療、放射線治療、抗がん剤による化学療法が主なものでした。最近新たながん治療の柱として脚光を浴びているのが免疫療法です。

これまでの免疫療法では、免疫機能の攻撃力を高める方法が中心でした。新しい免疫療法で、前述の「がん細胞によるブレーキ」を解除することが開始されました。つまり、ブレーキ解除で免疫細胞の働き活発にし、がん細胞を攻撃できるようにする新たな治療法なのです。



この治療法に用いられる薬は、抗PD-1抗体薬「オプジーボ」という薬です。国内では皮膚がん（メラノーマ）、肺がんの一部、腎臓のがんに対して保険適応が認められています。

この治療にご関心がある患者様は、一度主治医にご相談されてはいかがでしょうか。私たち医療スタッフとともに最善の治療法を一緒に考えていきましょう。

心臓血管外科部長 齋藤 陽